

欧州心臓病学会（European Society of Cardiology; ESC）高血圧部会の
ACE 阻害薬およびアンジオテンシン受容体拮抗薬に関する意見表明

（2020 年 3 月 13 日公開）

原文リンク

[https://www.escardio.org/Councils/Council-on-Hypertension-\(CHT\)/News/position-statement-of-the-esc-council-on-hypertension-on-ace-inhibitors-and-ang](https://www.escardio.org/Councils/Council-on-Hypertension-(CHT)/News/position-statement-of-the-esc-council-on-hypertension-on-ace-inhibitors-and-ang)

* 翻訳は現時点での暫定的な情報を元に作成されています。また医学的内容について、まだ監修を受けていない一次翻訳の状態です。本記事の利用については、各施設および個人の臨床医の判断と責任下で利用してください。

中国からの初期の報告や、その後に相次いだ、高血圧が COVID-19 感染による入院患者の死亡リスク上昇に関係しているという発表に基づき、COVID-19 感染におけるアンジオテンシン変換酵素阻害薬（ACE-i）あるいはアンジオテンシン受容体拮抗薬（ARBs）による有害事象の可能性に対する懸念が一気に拡大している。これらの一般的に用いられる薬剤が、感染のリスクと SARS-CoV2 重症度の両方を増加させる可能性について、特にソーシャルメディアの世界で話題となっている。コロナウイルスが SARS を起こすのと同様に、COVID-19 ウイルスが、感染した細胞の ACE2 と呼ばれる特異的な酵素と結合することや、ACE2 のレベルが ACE-i や ARBs 内服により増加するという知見から懸念が巻き起こっている。

ソーシャルメディアによるこれらの情報拡大のため、高血圧の治療目的でこれらの薬剤を内服中の患者および担当医の不安が増してきており、ACE-i や ARBs の内服を中断したケースも見受けられる。

COVID-19 関連の ACE-i および ARB による治療の安全性に関しては、明確な科学的な背景あるいはそれを支持する根拠がない。それどころか、動物実験ではこれらの薬剤が COVID-19 感染患者における重篤な肺合併症に対して、むしろ保護的に作用する可能性が示唆されているが、現時点でヒトにおいては実証されていない。

欧州心臓病学会高血圧部会としては、COVID-19 感染が大流行している現在の状況において、ACE-i ならびに ARB の COVID-19 感染に対する有害な影響を支持する根拠は何ら存在しないことに注目していただきたい。

欧州心臓病学会高血圧部会は、**医師および患者がこれまで通りの降圧治療を継続することを強く推奨する。その理由は、COVID-19 感染により ACE-i ならびに ARBs は中断すべきであることを示唆する臨床的および基礎的根拠は一切ないからである。**

Giovanni de Simone 教授

ESC Council on Hypertension 委員長

中枢メンバーを代表して